

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		なないろプラス				公表日 令和7年4月11日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・ロールカーテンを使い、個別対応できる空間を作ることができる。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		・ 適切である。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・ 車いすも入れるようになっている。 ・ 段差をなくしている。 ・ 学習をする場所も空間を分けて行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			・ 活動内容によって場所を分けたり、小人数のグループで行っている。 ・ 1日1回以上の掃除。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・ クールダウンする個室やパーテーションが必要だと思う。	・ クールダウンをする際は、スマイルさんの1階のお部屋でクールダウンができるようになっている。またパーテーションも検討していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・ 評価表は皆で共有している。	・ 今後も評価表について共有していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・ 話をする機会を作っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・ わからない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・ 受けたい研修は、個人で受けてもらっている。 ・ 研修を受ける時間を作り、1人1人が自己研鑽していけるよう努めている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・ 毎月の予定表は保護者の方にお渡ししている。また子どもたちにもわかりやすいように掲示している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・ 送迎時に保護者の方に聞いた課題等も取り入れている。	・ 引き続き、職員間での情報共有を図っていきけるよう時間を作っていきたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・ 職員全員で確認し、追加してほしい内容がある際は、検討を行っている。	・ 引き続き、職員間での情報共有を図っていきけるよう時間を作っていきたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・ 職員間で共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			・ 支援内容を踏まえながら取り組んでいるが、今後も職員間でも情報共有を図りながら検討していきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・ 皆で情報を共有し合いながら立案している。	・ 引き続き、情報共有していきながら、子どもたちが楽しく活動に取り組めるような立案を行っていきたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・ 毎月皆で話し合っ内容を考えている。 ・ 新しい活動を取り入れている。	・ 曜日ごとで同じようにならないように工夫しながら取り組んでいるので、引き続き行っていく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・1人1人のニーズに合わせられるよう努めている。	・今後も継続して、個別支援計画の作成に努めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝礼で活動内容や担当職員を毎日確認している。また午後から行う場合もある。	・朝礼だけでは時間が足りない場合はお昼からや夕方など時間を分けて共有を図っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・気になること等ある際は会議の時間以外でも職員間で情報共有するようにしている。	・帰りの送迎時での保護者の方の話等を共有を継続して図っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・日々の毎日の記録を残している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6カ月に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	・今後も6カ月に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			・支援内容を踏まえて活動等に取り組んでいる。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・気になることがある際は、学校見学へ行き、学校での様子を見たり、担任の先生と情報共有を行っている。	・新年度に入るので、引きつづき、学校見学等を行い、学校の先生とも情報を図っていきけるよう努めていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・小学校に入学前に、担当者会議等を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・昨年度、研修を受けさせていただき、助言等を頂いた。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・わからない。 ・今後取り入れていきたい。 ・公園で遊ぶ子供と交流がある場合がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	・今後取り入れていきたい。 ・子ども部会には参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・わからない。 ・送迎時に行っている。直接会えない保護者の方とはメールや電話でやり取りを行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・わからない。 ・年に1度親子療育を行っている。（今年度はできていない）	・今年度は親子療育もできなかったもので、令和7年度は親子療育を行っていききたいと思う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・療育開始前に、担当者会議を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・保護者の方に説明して、計画書の同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・面談等が必要時に行っている。	・今後、相談等ある場合は引き続き適切に応じていきたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	・わからない。	・前年度が親子療育を開催できなかったもので、令和7年度は親子療育を行い、保護者の方同士で交流する機会もできたらと思っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			・まだ苦情等はないが、今後何かあれば、すぐに対応していきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・ホームページにて活動の様子は掲載している。	・引き続き、活動の様子はホームページに掲載していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			・個人情報の取り扱いに関しては十分気を付けている。ホームページで顔写真等は必ずの載せていいかの確認を行っている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・わからない。 ・今後取り入れていきたい。 ・ファミリーマートさんに壁面を掲載していただいている。 ・ハロウィンや七夕ではファミリーマートさんに協力していただいている。	・行事等で招待するとかではないが、隣接しているファミリーマートさんに制作したものを掲示していただきたり、ハロウィンのイベントにはご協力いただいている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			・ホームページにマニュアルを掲載していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・月に1回必ず避難訓練を実施している。	・変更等あった場合はその都度作成していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・契約時や担当者会議等で確認を行っている。	・継続して確認を行い、職員で情報共有を図っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・アレルギーには十分気を付けている。 ・契約時にアレルギーの有無について確認をとっている。	・アレルギーがある際は、みんなで把握し、その都度気をつけていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・毎月、安全管理のチェックを行っている。 安全には十分に気をつけて支援を行っている。	・今後も子どもたちが事故や怪我等しないよう十分気をつけていきたいと思う。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			・安全点検等は月に1度、行っている。保護者の方に周知はできていないので、今後周知していけるよう検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・ヒヤリハットは事業所内で共有し、再発防止に努めている。	・今後もヒヤリハットを事業所内で共有を図っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・年に2回虐待についての研修を行っている。	・今後も継続して虐待についての研修を行っていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			・今後個別支援計画書に記載していく。